

キャラクター名
狭山 敬太

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ		ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	高校生
	ブラックドッグ					
オプション			年齢	17歳	性別	男
覚醒	憤怒	衝動	恐怖	初期侵食率	34	%
出自	両親不在	経験	大事故	邂逅	立科沙紀	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	32
肉体	4	0	0			4	行動値	8
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	8
精神	2	1	1			4	戦闘移動	13
社会	0	0	1			1	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	2		交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
憤怒の雷槍(6dx@8+2)	RC	4r+2		8		コネ(2)+加護(3)+槍(2)
(7dx@8+2)	RC	4r+2		8		コネ(2)+加護(3)+槍(2)
(8dx@8+2)	RC	4r+2		8		コネ(2)+加護(3)+槍(2)
(10dx@7+2)	RC	4r+2		10		コネ(3)+加護(4)+槍(3)

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ:UGN幹部	
コネ:ハッカー	
賢者の石	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス:賢者の石P		N		
立科沙紀	P 尊敬	N 劣等感		
ウォークマン(父親の形見)	P 親近感	N 不安		
	P	N		
	P	N		
他PC用	P	N		
他PC用	P	N		

最大財産P: 2 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンソレイト	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果:	CL: -Lv (下限値7)							
イオノクラフト	1	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	移動: 飛行移動、距離+[Lv*2]m							
雷の加護	3	2	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	補正: 判定ダイス+Lv個							
雷神の槌	2	3	メジャー	視界	範囲	対決	-	
効果:	攻: +6 Lv回/シナリオ 同一エンゲージ不可							
雷の槍	2	2	メジャー	視界	-	対決	-	
効果:	攻: +[Lv*2+4] 判定ダイス-1個							
MAXボルテージ	1	4	メジャー	-	-	対決	80↑	
効果:	攻: +10 判定ダイス-1個、Lv回/シナリオ							
雷鳴の申し子	1	5	メジャー	-	-	対決	ピュア	
効果:	攻: +[最大HP-現在HP] 使用後HPO Lv回/シナリオ							
電波障害	★							
効果:	ジャマー							
電子使い	★							
効果:	自由に読み書き出来る							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

漆黒市の高校に通う高校2年生だ。しかしそれは表の顔に過ぎない。数年前、ある事件に巻き込まれ立科沙紀という少女に命を救われた君は、オーヴァードとして覚醒、沙紀によってUGNへと導かれた。UGN漆黒支部のUGNチルドレン、それが君の裏の顔だ。ある日のミッション中、危機的状況に陥った君は新たな力を手に入れる。君の肉体に現れた謎の結晶。それは強大な力を与える代償に新たな試練をもたらすだろう。

俺は狭山 敬太。漆黒市の高校に通う高校2年生だ。数年前に、とある事件に巻き込まれ両親を失い、自らも絶体絶命の危機に陥った際に俺の中の「何か」が暴走し、ある力に目覚めてしまった。それは――、電流を自在に操るチカラだ。俺はその力を見込まれ、事件の際の命の恩人である立科沙紀によってUGNに所属することになった。今は高校生活の裏でUGN漆黒支部のチルドレンとして活動している。まあそれはそれは、個性豊かな仲間たちとな……。

179cm 70kg 男
コードネーム エレク
本名 狭山敬太 (さやま けいた)
ブラックドッグのピュアブリード
あらゆる電気を操ることができ、雷と同等の規模のものでさえ容易に使いこなす。しかし、その秘めたるチカラは自らを焼き尽くしてしまう潜在性を持っている。命の恩人である立科沙紀のことを慕っており、「沙紀姉」と呼んでいる。